

一般社団法人日本粘土学会 2023 年度第 3 回理事会議事録

日 時：令和 5 年 7 月 15 日（土）15:00～16:50

会 場：国際文献社パブリッシングセンター8 階会議室および Zoom 会場

出席者：理事（23 名）川俣 純、日比野俊行、鈴木正哉、蛭名武雄、井出裕介、伊藤健一、上原元樹、梅村泰史、大川政志、岡田友彦、黒田義之、桑原義博、敷中一洋、鈴木康孝、田村堅志、藤井和子、皆瀬 慎、宮元展義、宮脇律郎、三好陽子、毛利恵美子、森下智貴、地下まゆみ

監事（1 名）：高木哲一、志々目正高

理事以外の常務委員（7 名）：小口千明、佐久間博、笹井 亮、手束聡子、中戸晃之、森本和也、横山信吾、

事務局：川島朝子

成立確認：理事総数 29 名の過半数 15 名、出席理事 23 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 2023 年度事業中間報告（資料 1）

資料をもとに各担当委員より報告があった。各学会誌編集委員長より論文投稿の依頼がなされた。また、会員動向について手束庶務委員より会員資格停止者（2 名）と会員資格停止対象（4 名）について説明があった。また、提示された（別資料）会費未納者に関して、本日時点で 30 名となっていることが報告され、関係者がいる場合は、声かけをして欲しいとの要請があった。

2. 2023 年度会計中間報告（資料 2）

伊藤会計委員より資料をもとにインボイスについて本学会は免除対象となるのでその方向で進めており、海外送金の電子化については銀行のオンラインサービスを用いて海外送金の電子化をしていることが説明された。一般会計（収支報告）、学会誌出版事業、在庫状況（発行後 1 年過ぎたものは 2 冊残すこと）、参考粘土試料、学術振興積立金、貸借対照表、財産目録（三菱 UFJ 銀行は解約し、残り 2 つとする）について報告された。

3. 2024 年度業務委託契約（資料 3）

蛭名常務委員長より資料に基づき説明がなされた。委託内容は例年通りであるが、年月などを変更している。また契約金額算定基準書（別資料）について、会費請求・会費受付、会員原簿、陪席時間、賞状ホルダーや保管料の変更、メール一斉配信など現状に合わせた変更が事務局より報告された。

4. 2024 年度事業計画（資料 4）

各委員より資料に基づいて説明があった。蛭名常務委員長より 2024 年度の常務委員会と理事会の日程について、第 67 回粘土科学討論会の開催時期に合わせ日程を調整していることが説明された。川俣会長より 2024 年度第 1 回理事会は第 66 回粘土科学討論会期中に、ハイブリッドで開催することが説明された。

5. 2024 年度予算（資料 5）

伊藤会計委員より資料に基づき説明があった。会員減少を踏まえた試算を行っており、コロナ前の状態に近い形予算案を計上している。来年度の予算案については次回理事会にて最終審

議となることが確認された。

6. 2023年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料6）

選考委員会により推薦された候補者について蛭名常務委員長より資料を基に説明があり、審議の上、原案のとおり決定した。

7. 2023年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料7）

伊藤委員より受賞候補者案について資料に基づき説明があり、原案のとおり対象者1名が決定した。

8. 2023年度総会の開催日時と形式について（資料8）

蛭名常務委員長より、総会・表彰式の開催について説明がなされた。学会はハイブリッドであるが、総会は通信環境により出欠確認に問題が生じる可能性が懸念されるため、会場での開催のみとし、不参加の方や現地に来られない参加者には委任状を提出いただくことが報告された。

9. CMS-Asian Clay 合同会議の現況報告（資料9）

蛭名常務委員長より現在の決定事項について報告された。また、優秀講演賞の設定について、意向調査が行われており、CSSJの講演賞として、学生を含む若手を対象として、young members of CSSJという形で年齢等の条件を検討し設定する予定であることが説明された。振興賞は学生を対象とし、講演賞については学生を含む若い方を対象としたいことが会長より補足説明された。佐藤委員と蛭名常務委員長に一任し進めていただくこととなった。

10. 第66回粘土科学討論会準備状況について

(1) 第66回粘土科学討論会（資料10・11）

蛭名実行委員長より資料を基に現状について説明がなされた。現在97名の参加となっている。今後も参加者は増える見込みである。また、企業展示は1件となっている。次回に向けた課題とした振込期限を過ぎた参加登録料の取り扱いについて情報共有として説明がなされた。今後の課題として実行委員長同士で引き継ぎを行い、必要があれば次年度提案いただくなど柔軟に対応していくことになった。

講演要旨公開について、会場の環境を踏まえると、9月8日（金）として事前にウェブにて公開し必要箇所は印刷して持ち込めるようにする必要があることが説明され、常務委員会の意見を踏まえ、要旨の公開は9月8日（金）に変更することとなったことが報告された。また、見学場所についての資料をもとに変更点が説明された。

(2) 第66回粘土科学討論会シンポジウム（資料12）

蛭名実行委員長より資料のとおり説明された。

(3) 見学会について（資料13）

蛭名実行委員長より見学会について説明が行われ、参加者の持ち物（水分）や服装についての注意が確認された。

11. 2024年度日本粘土学会常務委員会・理事会開催日程について（資料15）

蛭名常務委員長より、第67回粘土科学討論会が9月2～5日の3日間の予定であるため、討論会の日程に合わせた会議の日程が説明された。

12. その他

特になし。

以上、審議の上、承認された。

報告事項

1. 参考粘土試料にかかる論文のページチャージなどについて（資料14）

蛭名常務委員長より資料のとおり関係者間で申し合わせがなされた事項が説明された。参考粘土試料の技術情報の論文については学会の依頼によって公開する場合は、ページチャージやカラーチャージを免除すること等が決定している。

2. 収支健全化WG答申に対する粘土科学編集委員会の検討状況について（資料16）

横山編集委員長より粘土科学編集委員会での検討状況について編集委員からの意見も含め報告された。編集委員会の方で検討を継続すること、来年度は年3号発行としているため再来年度までに検討状況を再度報告することとが確認された。また、理事からも意見があれば横山委員長へ連絡いただくことになった。

3. その他

特になし

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和5年7月28日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

代表理事（会長） 川俣 純 ⑩

代表理事（副会長） 日比野俊行 ⑩

監事 志々目正高 ⑩

監事 高木 哲一 ⑩